

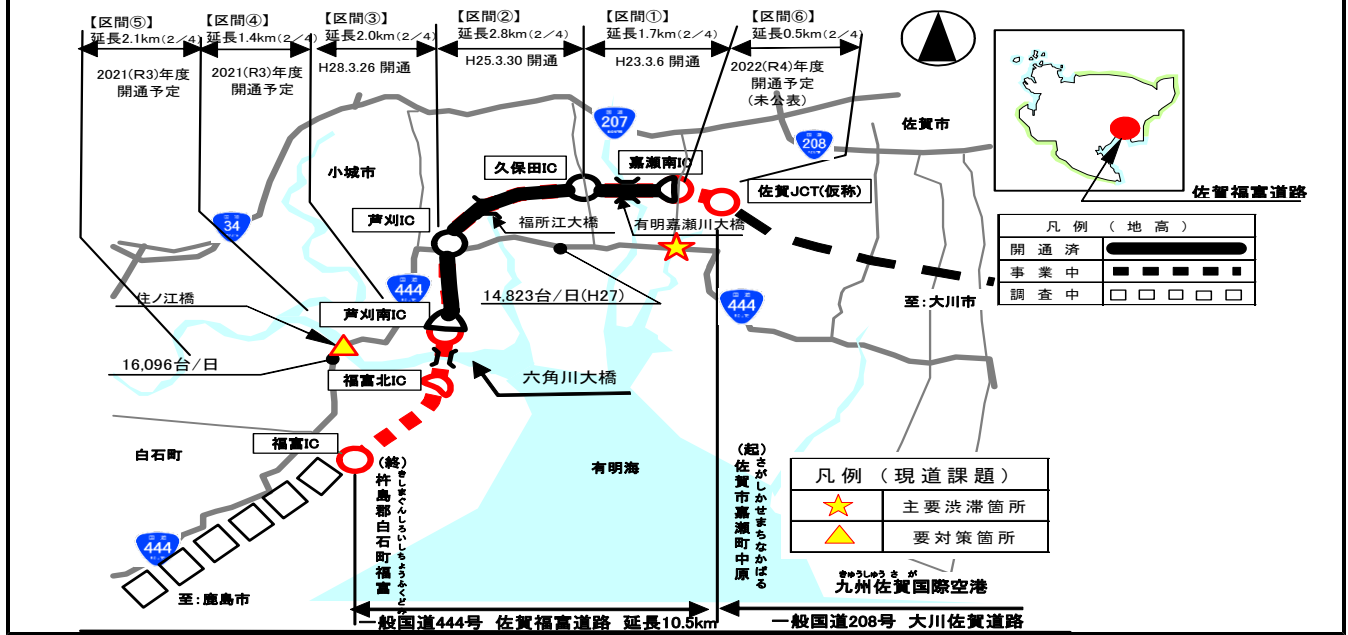
再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

| | | | | | |
|--|------------------------------------|---|------------|---|--------|
| 事業名 | 地域高規格道路 有明海沿岸道路 一般国道444号 佐賀福富道路 | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 佐賀県 |
| 起終点 | 自：佐賀県佐賀市嘉瀬町中原 至：佐賀県杵島郡白石町福富 | | | 延長 | 10.5km |
| 事業概要 一般国道444号佐賀福富道路は、地域高規格道路有明海沿岸道路の一部を構成し、一般国道444号の交通混雑の緩和及び交通隘路区間を回避するとともに、災害時における緊急輸送路や代替路としての機能確保を目的とし、佐賀県佐賀市嘉瀬町中原から佐賀県杵島郡白石町福富までの延長10.5kmを整備するものである。 | | | | | |
| 平成13年度事業化 | 都市計画決定 無し | 平成18年度用地着手 | 平成19年度工事着手 | | |
| 全体事業費 | 約580億円 | 事業進捗率 | 約89% | 供用済延長 | 6.5km |
| 計画交通量 | 22,600～34,600台/日 | | | | |
| 費用対効果 分析結果 | B/C (事業全体) | 総費用 (事業費)/(事業全体) | | 総便益 (残事業)/(事業全体) | |
| | 2.3 | 43/699億円 (事業費：32/686億円 維持管理費：11/13億円) | | 907/1,604億円 (走行時間短縮便益：693/1,244億円 走行経費減少便益：175/286億円 交通事故減少便益：39/74億円) | |
| 感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=2.2～2.6(交通量±10%) 事業費：B/C=2.3～2.3(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.2～2.3(事業期間±20%) (残事業) 交通量：B/C=20.1～22.6(交通量±10%) 事業費：B/C=19.4～22.5(事業費±10%) 事業期間：B/C=19.9～20.8(事業期間±20%) | | | | | |
| 事業の効果等 ・有明海沿岸道路の一部を形成しており、有明海沿岸地域全体の地域間交流を促進し産業や観光の活性化に大きく寄与することが期待される。 ・有明海沿岸道路の整備により、福岡県大牟田市から佐賀県鹿島市までの所要時間の短縮（約1時間）が期待される。 ・国道444号の交通渋滞の緩和、安全性の向上が期待される。 ・救急医療施設までの所要時間短縮が図られ、救命率向上が期待される。 | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 ・佐賀市から鹿島市までの沿線市町、県議会議員、商工会等で構成される有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会（会長：佐賀市長）等により早期整備の要望が行われている。 | | | | | |
| 事業評価監視委員会の意見 ・佐賀県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。 | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・九州佐賀国際空港ターミナルビルの拡張完了予定（R3） | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地取得率約91%、事業進捗率約89% | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、橋梁及び道路改良の工事を推進していく。 | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 ・全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト縮減を図る。 | | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | |
| 対応方針決定の理由 費用対効果の高さや円滑な交通の確保による地域経済の発展等を勘案すると事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | | | | | |

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年度別の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。